

# 人間の観測的な側面から

多次元を語る。

**現象に理由はない** ※人間は意味を見出し得る現象

何もない = 全て生み出せる

**無 = 無限 (ポテンシャル)**

$0 = \infty$

見出せる 無

創造の過程

**有**

初到の光

振動・波 (電磁波等)

本当は...

全方向 (無限次元) に

おいての波がわかれ

無限の光に



おいて

無へ戻る

有 (全体) (極)  
粒子 → 反粒子

見出せる → 見られる

見る

消滅

$\infty$  波

0 粒子

※ 有は無の一面面

知る辺り

仕組は

77クワイル (木敷)

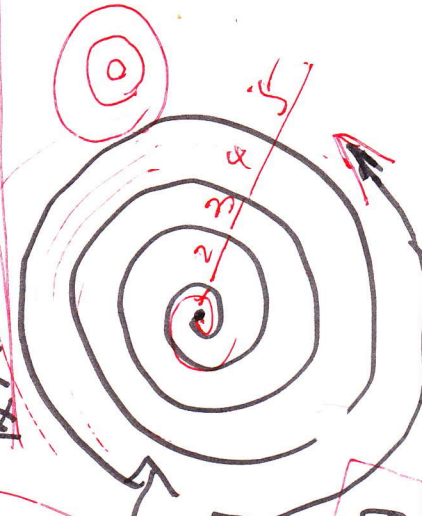
数字

有

初到の光  
本当はたった一つのエネルギー

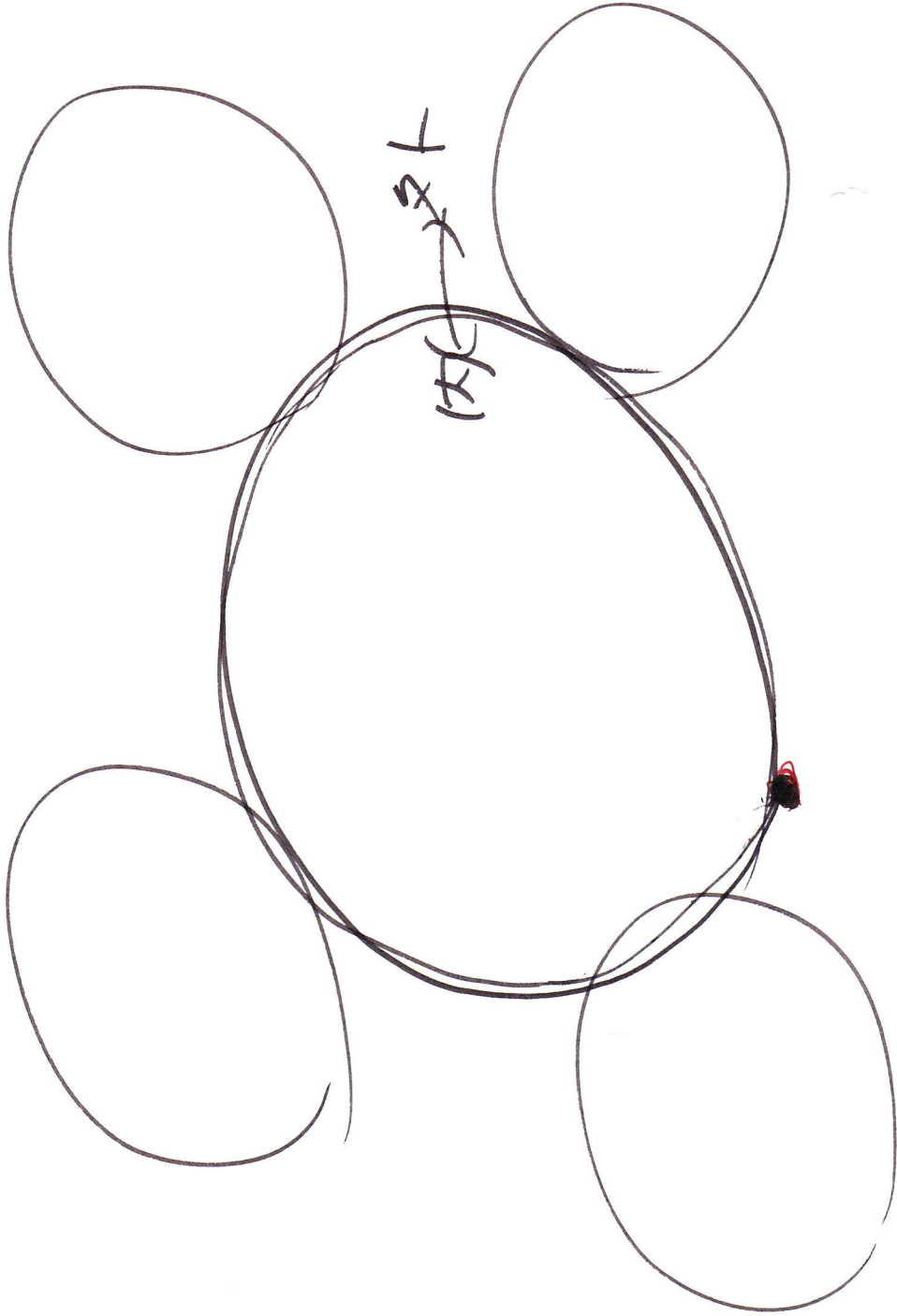
無が有のふりをしている

夜フにほころ...みだいに



数字

有





おぼろげ

無 ← 在

無 = 無限 (のポテンシャル)

何もない. 全て飛び出せる

全体 全て (有)

意識

光がない  
→ 闇もない

光  
振動・波

無の完結点  
有 (知識・光)

光 = 振動 (粒)  
波 (波)

無 ← → 有 (全て・全体)

無が 全ての全てを包みこむ

さい

立場の差異

見られる者

自分

見る者

創造のエネルギー  
無限のポテンシャル

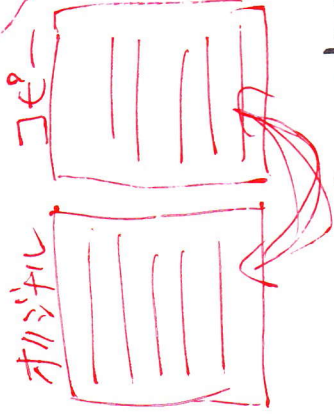
(見る体験)

有 (抑圧の光)

私たちが 宇宙内部の  
草も木も人も同じ

全体 全て

無の(有)の境  
さびた境



無の完全化

傾けるならば  
全部自分

③ 一ト遊びたい。

作者

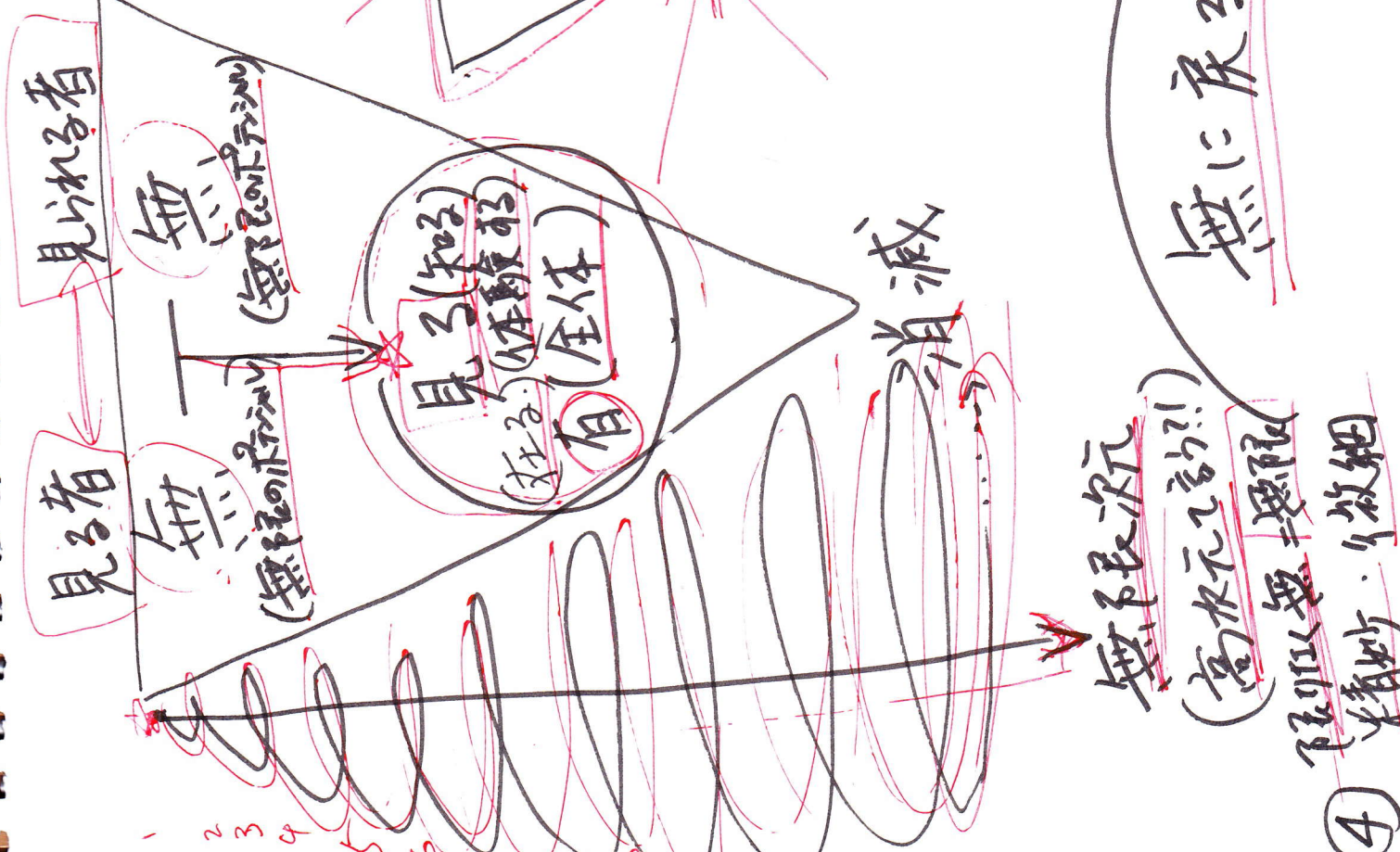
観客

演者

(全体・全)



← 三極の正体



さい  
差異

立場が2つ

極  
体異

極

消滅

消滅

無限大  
(高次元で無限)

有限無 = 無限

精神・微粒

④